

## 現状・課題

## 計画的な施策の展開

## 政策目標

スポーツ基本法による新たな規定

競技会外検査数の増加等に対応したドーピング検査体制が十分でない

禁止物質のインターネット販売や栄養補給剤等への混入も見られ、競技者等のドーピング防止活動に関する更なる知識の必要性

団体の理事間対立

公平・公正なスポーツ環境整備、適切な団体運営の必要性

暴力事件、薬物犯罪の発生

団体運営の透明化や説明責任を求める社会的要請

代表選手選考を巡る紛争

仲裁制度の理解や人材の不足、自動受諾条項採択の低さ

ドーピング違反による資格停止処分などをめぐる紛争

### (1) ドーピング防止活動の推進

#### 【施策目標】

・国際的な水準のドーピング検査・調査体制の充実、機器の研究開発の推進、教育・研修、普及啓発を通じたドーピング防止活動の充実

#### 【主な施策の方向性】

・JADAと連携し、国際的な水準の検査・調査体制を充実  
・競技団体、競技者等に対するアウトリーチプログラム等の教育・研修活動を一層推進

### (2) スポーツ団体のガバナンス強化に向けた取組の推進

#### 【施策目標】

・スポーツ団体の組織運営の透明化に向けたガイドライン策定  
・ガイドラインに基づき体制整備したスポーツ団体を増加

#### 【主な施策の方向性】

・組織運営体制の在り方についてのガイドラインの策定・活用  
・団体のマネジメント機能強化のための取組の支援

### (3) スポーツ紛争の予防及び迅速・円滑な解決に向けた取組の推進

#### 【施策目標】

・スポーツ仲裁の自動受諾条項を置くスポーツ団体の継続的な増加等、スポーツ紛争の予防・解決のための基礎的体制整備を推進

#### 【主な施策の方向性】

・団体・アスリートの理解増進、仲裁人等の人材育成の推進  
・仲裁自動受諾条項採択など迅速・円滑な紛争解決の取組促進

ドーピング防止活動を推進するための環境整備  
スポーツ団体の組織運営の透明化、スポーツ紛争仲裁のための基礎環境の整備・定着